

あなたの安心

どうしました

5歳の男児。真性包茎のようです。小学校入学前に手術をすべきかどうか、迷っています。皮を引っ張ると大変痛がり、触れられることを嫌がります。以前、小児科の先生に「少し引っ張ると」と言われたのですが、痛がるので、1年間ほどは何もしていません。(岡山県・〇)

Q 真性包茎とは？

A 子どものおちんちんの先端は通常、包んでいる皮(包皮)に覆われ、亀頭が露出していません。この状態を包茎と言います。包皮口が狭いため包皮がむけないのが「真性包茎」で、引っ張ればむけるのが「仮

性包茎」です。生まれたときはほとんどの子どもが真性包茎ですが、その割合は年齢とともに低くなっていきます。思春期を迎えると亀頭が常に露出した状態になる子どもも出てきます。

Q 治療は必要ですか。

A 子どもは真性包茎でも、

子どもの包茎



増子 洋さん

ますこクリニック院長(泌尿器科)

横浜市戸塚区

基本的には放っておいて大丈夫です。ただ、亀頭や包皮が炎症を起こす亀頭包皮炎や、排尿時に包皮がふくらむとか、おしっこが線のように細くしか出ない、排尿障害がある場合は、何らかの治療が必要です。

Q 手術をすべきかどうか、迷っているようです。

A ここ数年、ステロイド軟膏を塗って真性包茎を治す治療が広がっています。包皮の先端の狭い部分に少量のステロイド

軟膏を1日2回、4週間ほど塗ると、包皮が広がりむけるようになるという方法です。国内外の論文で、8〜9割に効果があったと報告されています。ステロイドは皮膚を薄くし伸びをよくなる作用などがあるため、効果があると考えられています。

Q どんな子も使えますか。

A 包茎のタイプにかかわらず、何歳でも大丈夫です。ステロイド軟膏による治療は手術に比べ安全で簡単、治療費も安く

すみます。ただ、包皮の口が白く硬くなる閉塞性乾燥性亀頭炎を起している場合は、手術が必要ですよ。

Q 副作用はどうでしょう。

A 弱いタイプのステロイド軟膏を使うので、副作用はほとんどありません。ただ、薬の効果でむけるようになっても、放っておくと、真性包茎に戻ってしまうことがあります。むけるようになっても、1〜2カ月間は1日1回、むく訓練をしてください。また、この治療で真性包茎を仮性包茎にすることはできませんが、大人になったときに完全にむけた状態になるかどうかはわかりません。

「どうしました」の質問には連絡先を明記してください。回答は紙面に限らせて頂きます。eメール kenko@asahi.com 〒104・8011 朝日新聞医療グループ

ファクス 東京03・3524・0533 大阪06・6201・0249